

苦勞した疎開生活のこと

匿名希望（父から聞いた話）

父は昭和8年2月生まれ。小5まで神戸市に住んでいた。疎開し田舎へ来、中学受験のための勉強は楽しかったが、田舎での6年生はしんどかった。下の弟2人と母との4人での田舎生活は家も土地もないのでバカにされてくやしかった。中学に進学はしたが、生活のため、農協でソロバンの仕事をはじめた。高校へは8kmほどあったが、自転車を購入する金がなく、歩いて通った。とうとう生活におわれ高校を卒業することができなかった。